別記様式第7号別添

水田麦・大豆産地生産性向上事業に関する事業評価総括表

事業実施主体名	対象作物	地　区	成果目標の達成状況						事業計画の妥当性	適正な事業執行	都道府県知事
				成果目標の具体的な内容	基準値 R2年度	目標値 R5年度	実績値	達成度合 %			
行田市cereal grain研究会	大豆	行田市（北西部）	成果目標１	団地化率の向上	0%	15%	24.06%(R4) **0%(R5)** 25.26%(R6) ※R4,R6参考	160.4(R4) **0(R5)** 168.4(R6) ※R4,R6参考	妥当	適正	事業計画の妥当性について、ブロックローテーションを実施した令和5年度を除き、目標値が達成されたことから認められる。 適正な事業執行について、令和5年度は、連作障害を避けるためにブロックローテーションを行った結果、団地化の基準である4ha以上のほ場がなかったため、0%となったが、令和3年度は30.5%、令和4年度は24.06%と目標は達成されている。 また、現時点での令和6年度の実績値も25.26%と目標が達成されていることから、事業は適正に実行されたと評価できる。
			成果目標２	面積の拡大	1132a	2661a	2818.6a	110.31	妥当	適正	事業計画の妥当性について、目標年度における目標値は達成されたことから、妥当性は認められる。 適正な事業執行については、先進的な営農技術や農機具等の導入により、目標が達成されていることから、適正に実行されたと評価できる。
			成果目標３								
			成果目標４								